

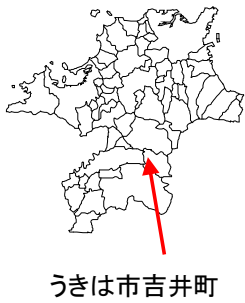
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻・麦や野菜等の園芸作物が盛んな平地農業地域、果樹等の生産が盛んな中山間地域
- 担い手の規模拡大、農地利用の効率化のため、大区画化を進めているものの、担い手が減少しており、中心経営体の経営改善、経営安定が課題

【支援内容・背景】

- 当地区では、担い手の減少に対応するため、中心経営体の経営発展(経営規模拡大及び収益性向上)を強力に推進することが必要。
- 助成対象者((株)みずほファーム)は、地区内で米麦大豆の大規模農業を営む者で、近年、経営面積を急速に拡大。更なる経営規模拡大及び生産物の品質向上を志向しており、併せて、経営の合理化や雇用拡大も実践。
このため、地区における経営力強化の取組普及モデルとして支援。



助成対象者「(株)みずほファーム」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和55年 土地利用型農家として、水稻の作業受託や麦の期間借地を中心に経営を開始
- 昭和63年 ライスセンターを整備し、水稻や麦の乾燥受託を開始し、規模拡大を加速
- 平成24年 ライスセンターを移転・新設
- 平成25年 株式会社へ組織変更

《事業活用の背景》

- 経営の拡大を図るため、高品質な米の安定的な生産と併せ、高付加価値化等に取り組み、売上高向上による経営安定が必要。
- 販売米の高付加価値化に向けて、米の選別・調整の精度向上に資する高性能機械を導入。

【現在の経営状況】 〈R元年度〉	
○売上高	146百万円
○経営面積	水稻 30.3ha 麦 61.0ha 大豆 12.1ha
○米取引業者数	(業者) 7業者 (個人) 30件
○米直売数量	16トン

《事業による整備内容》

色彩選別機	1台
石抜き精米機ユニット	1台
異物除去装置	1台
事業費	10,742千円
(国費)	4,882千円



【現在の経営状況】 〈R5年度〉	
○売上高	180百万円 (123%)
○経営面積	水稻 32.1ha (105%) 麦 78.7ha (129%) 大豆 25.3ha (209%)
○米取引業者数	(業者) 14業者 (200%) (個人) 50件 (166%)
○米直売数量	26トン (162%)

事業の
効果

《対象者》 高品質な米の安定販売が可能となり、経営の拡大が実現。
《地 区》 生産調整体制が強化されたことで、安定した経営が可能な大規模水田経営モデルが確立。